

社会知性開発研究センター・シンポジウム・公開講座

東アジア世界史研究センター・公開講座

「古代東アジアの国際情勢と人流」

5年間研究の集大成に

合わせて約300人が出席し、聴講した。東アジア世界史研究センターの研究プロジェクト「古代東アジア世界史と留学生」が文部科学省オープン・リサーチ・センター整備事業に採択され、今年度で5年目。本学が発見に大きな役割を果たした『遣唐使并真成墓誌』を契機として、2日目は山内晋次神戸女子大学准教授、矢野建一文部科学省准教授、鈴木靖民国学院大学教授、横濱市歴史博物館館長の3氏による講演と討論が行われた。講演の合間には、本センターの公開講座などに多数出席した約30人に記念品が贈られた。



▲ 5年間の総括を述べる荒木代表

また、同研究センターの成果の一つとして日本・中国・朝鮮半島の対外関係に関する事項が集成され、典拠とな



▲ データベース『古代東アジア世界史年表』の活用法が説明された

った史料も収録されたデータベース『古代東アジア世界史年表』(同研究センターのホームページで公開中)を紹介。リサーチ・アシスタントの窪田藍さんが活用法を説明した。最後に荒木敏夫同研究センター代表(文学部教授)が「今回のプロジェクトでは『東アジア』という枠組みから日本と中国、朝鮮半島



▲ 活発な意見交換が行われたパネルディスカッション

社会関係資本研究センター・シンポジウム

「アジアのソーシャル・キャピタル」

猪口孝氏が基調講演

社会知性開発研究センター／社会関係資本研究センター主催の2011年度のシンポジウム「アジアのソーシャル・キャピタル」実

猪口氏は新潟県立大学で開催された日中友好討論会の席上、学長あいさつを中国語で行い、中国側委員から思わぬ反応を得たという自身の経験談を交え、なぜ日本人と中国人がお互いを誤解するのか、信頼に関する世論調査や実験の知見を手がかりに考察した。

「言葉が足りない」と政治的仲間作りができません。メディアの言いなりになることを避け、前者「言葉が足りない」とサルになるの「政治編」。政治ウ

心理学研究センター・第1回シンポジウム

「心と体と環境をつなぐ科学」

3つの領域から分析

社会知性開発研究センター／心理学研究センター(代表・長田洋和人間科学部教授)の研究プロジェクト「心と体と環境をつなぐ科学」をテーマにした(共催・日本基礎心理学会、協賛・日本バーチャリアリティ学会)。

最先端の研究者を招き、3つの講演とパネルディスカッションが行われ、約40人が聴講した。

石金浩史人間科学部准教授の趣旨説明に続き、北崎充晃豊橋技術科学大学大学院准教授は「バーチャリアリティからリアリティを考える」と題し、知覚・認知実験で得られる知見から心理学の位置づけを探った。

繁樹博昭高知工科大学准教授は「脳活動情報から心を読む」と題し、fMRIや脳波で計測した脳情報から、脳のどの部分が知覚処理にかかわっているのかを解析する研究について報告した。

「言葉が足りない」と政治的仲間作りができません。メディアの言いなりになることを避け、前者「言葉が足りない」とサルになるの「政治編」。政治ウ



▲ パネルディスカッション

27日、神田キャンパスで開催された(共催・日本基礎心理学会、協賛・日本バーチャリアリティ学会)。「心と体と環境をつなぐ科学」をテーマにした(共催・日本基礎心理学会、協賛・日本バーチャリアリティ学会)。

繁樹博昭高知工科大学准教授は「脳活動情報から心を読む」と題し、fMRIや脳波で計測した脳情報から、脳のどの部分が知覚処理にかかわっているのかを解析する研究について報告した。

繁樹博昭高知工科大学准教授は「脳活動情報から心を読む」と題し、fMRIや脳波で計測した脳情報から、脳のどの部分が知覚処理にかかわっているのかを解析する研究について報告した。

繁樹博昭高知工科大学准教授は「脳活動情報から心を読む」と題し、fMRIや脳波で計測した脳情報から、脳のどの部分が知覚処理にかかわっているのかを解析する研究について報告した。

繁樹博昭高知工科大学准教授は「脳活動情報から心を読む」と題し、fMRIや脳波で計測した脳情報から、脳のどの部分が知覚処理にかかわっているのかを解析する研究について報告した。

繁樹博昭高知工科大学准教授は「脳活動情報から心を読む」と題し、fMRIや脳波で計測した脳情報から、脳のどの部分が知覚処理にかかわっているのかを解析する研究について報告した。

繁樹博昭高知工科大学准教授は「脳活動情報から心を読む」と題し、fMRIや脳波で計測した脳情報から、脳のどの部分が知覚処理にかかわっているのかを解析する研究について報告した。

公開講座情報

大学院商学研究科・商学研究科公開シンポジウム「東日本大震災への企業の対応と復興への展望」
日時：1月19日(木) 13時30分～15時00分 場所：神田キャンパス731教室
パネリスト：神原健郎氏(ライオン㈱執行役員・ヘルスケア事業本部長) / 甘楽光正氏(イオン㈱グループ総務部長) / 上田和勇商学研究科長・教授 / モデレータ：渡辺達朗商学研究科長・教授
▽聴講無料
商学研究科

卒業延期制度について

平成24年3月卒業予定の在学生で、卒業要件を満たしたものの、平成24年4月から在学期間の延長を希望する者に対して、全学部(一部・二部)共通の卒業延期制度を実施します。

言葉が足りないと言語力サルになる 現代ニッポンと言語力

「言葉が足りない」と政治的仲間作りができません。メディアの言いなりになることを避け、前者「言葉が足りない」とサルになるの「政治編」。政治ウ

「言葉が足りない」と政治的仲間作りができません。メディアの言いなりになることを避け、前者「言葉が足りない」とサルになるの「政治編」。政治ウ

「言葉が足りない」と政治的仲間作りができません。メディアの言いなりになることを避け、前者「言葉が足りない」とサルになるの「政治編」。政治ウ

「言葉が足りない」と政治的仲間作りができません。メディアの言いなりになることを避け、前者「言葉が足りない」とサルになるの「政治編」。政治ウ

「言葉が足りない」と政治的仲間作りができません。メディアの言いなりになることを避け、前者「言葉が足りない」とサルになるの「政治編」。政治ウ

「言葉が足りない」と政治的仲間作りができません。メディアの言いなりになることを避け、前者「言葉が足りない」とサルになるの「政治編」。政治ウ

「言葉が足りない」と政治的仲間作りができません。メディアの言いなりになることを避け、前者「言葉が足りない」とサルになるの「政治編」。政治ウ

「言葉が足りない」と政治的仲間作りができません。メディアの言いなりになることを避け、前者「言葉が足りない」とサルになるの「政治編」。政治ウ

「言葉が足りない」と政治的仲間作りができません。メディアの言いなりになることを避け、前者「言葉が足りない」とサルになるの「政治編」。政治ウ